

同志社大学

人
文

科
学
研
究
所

Institute for Study of Humanities and Social Sciences

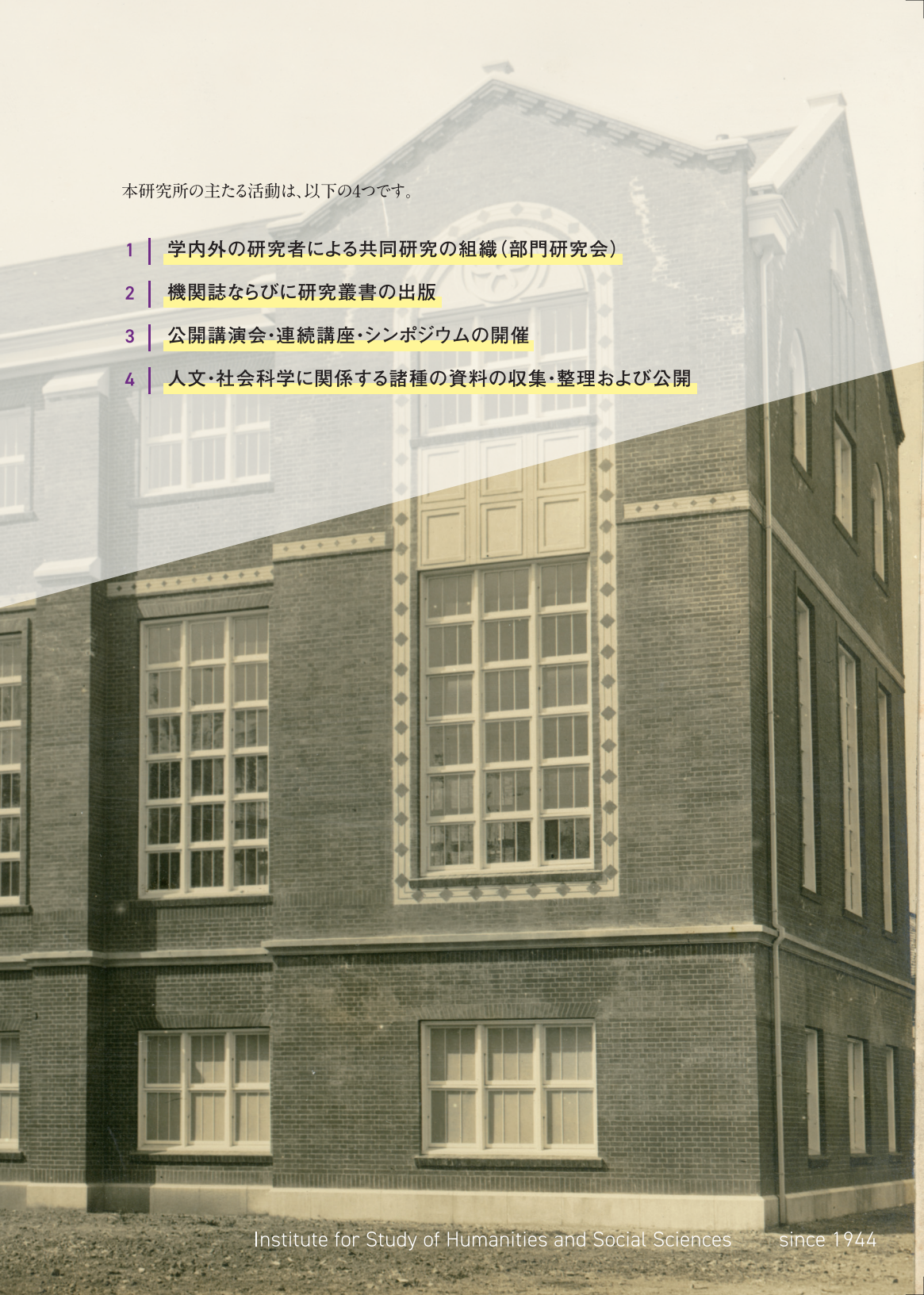
DOSHISHA UNIVERSITY

History

沿革

同志社大学人文科学研究所は、1944年に同志社大学研究所として発足し、1957年、人文・社会科学の領域で「専門の学術の理論及び応用に関する総合的研究をおこない、文化の創造と発展に寄与すること」を目的に設立され、現在の名称となりました。本学は、新島襄による同志社設立以来の伝統を受けついでキリスト教を教学の精神とし、現在では14の学部と16の大学院・専門職大学院を擁して研究・教育の両面で社会的評価を得ていますが、各学部・研究科内での独立した研究だけでなく、大学内共同研究の環境を整備し、本学の独自性をもった研究を展開するために人文科学研究所を始め3つの附置研究所が設けられ、発展を遂げてきています。





本研究所の主たる活動は、以下の4つです。

- 1 | 学内外の研究者による共同研究の組織(部門研究会)
- 2 | 機関誌ならびに研究叢書の出版
- 3 | 公開講演会・連続講座・シンポジウムの開催
- 4 | 人文・社会科学に関係する諸種の資料の収集・整理および公開



1 研究会活動

本研究所では、3年を1サイクルとして複数の「部門研究会」が設置され、同志社大学専任教員を研究代表者とし、同志社専任教職員および学外の研究者が参加し、人文科学研究所の専任研究員もその運営・活動に加わって、各研究会で学際的な共同研究が進められています。

これらの研究会は、公募により、申請のあった研究グループについて学内での審議を経て採択・設置されます。教員の多様な専門・関心を反映して、各部門の研究テーマも広く人文・社会科学の諸分野にわたるものとなっており、実証的かつ学際的な共同研究は本研究所の部門研究会の特色をなすものです。なかでも、以下の3つの研究分野に重点を置いて研究活動を進めています。

1 キリスト教社会問題研究

近現代日本の社会思想や社会運動に及ぼしたキリスト教の影響についての歴史的・総合的研究

2 京都を始めとする近現代日本の地域研究

近現代日本の京都を始めとする地域社会の形成
および発展についての歴史的・総合的研究

3 現代社会研究

現代社会の総合的研究、国際的な比較研究
および地域研究



部門研究会
活動報告

2 刊 行 物

定期刊行物としての機関誌を刊行するとともに、(不定期刊行物としての)研究叢書およびブックレットを出版し、部門研究会参加者ならびに専任研究員の研究成果を公表しています。

機関誌は、『キリスト教社会問題研究』『社会科学』の2種があり、それぞれ、年1回、年4回刊行しています。

研究叢書は、1つの部門研究会での共同研究の成果を1冊の公刊物としてまとめたもので、同志社大学の助成を得て出版され、市販されています。

ブックレットは、公開講演会・連続講座等の内容をまとめたものです。



キリスト教
社会問題研究



社会科学



研究叢書



人文研
ブックレット

3 公開講演会・連続講座・シンポジウム

部門研究会での共同研究ならびに専任研究員の個人的研究活動の成果を広く一般市民・学生に公表・還元する目的で、1977年から毎年2〜4回程度公開講演会を開催しています。

公開講演会は、部門研究会や専任研究員の企画によるもので、そのテーマは多岐にわたりますが、研究所の研究活動の重点領域を反映して、近代日本におけるキリスト教と社会問題に関わるものや、京都あるいはその周辺の地域の歴史・産業に関するもの、アジア等国外の地域研究をテーマにした講演会を開催してきました。近年は、講演会という形式にとどまらず、専任研究員による連続講座やシンポジウムなど、多様な形態で研究成果の公表・還元を行っています。



過去の
公開講演会



過去の
連続講座



過去の
シンポジウム

4 資料の収集

本研究所は、設立以来、多様な資料を精力的に収集してきました。キリスト教社会問題研究に関するものを中心に、歴史・文化・経済・経営・社会問題関係等約20万冊(点)の図書資料、一次資料、マイクロフィルム等を所蔵しています。特にキリスト教社会問題研究の分野で、長年にわたって収集されてきた歴史資料は、当該分野に関する研究者の間で高い評価を受けています。それらには、海老名弾正、湯浅与三、山室軍平、柏木義門、長田時行など、同志社関係者の一次資料や、アメリカンボード宣教師文書などが含まれています。

このほか、京都を始めとする近現代日本の地域研究分野の資料も積極的に収集しており、「河原林文庫」、「細辻家文書」、「手洗水町文書」、「京都下京蛸薬師町文書」などの古文書類や地方史関連文献も充実しています。



資料収集の
詳細はこちら

1 教員紹介

本研究所の専任教員はこちらからご確認ください。

<https://jinbun.doshisha.ac.jp/jinbun/staff/staff.html>



教員紹介

本研究所所蔵の図書資料は、本研究所の専任研究員や研究会参加者、本学の教職員や学生だけでなく、学外の方も、所定の手続きにより利用することができます。



人文科学研究所
図書利用案内



同志社大学図書館
利用お問合せ

1 利用時間

月～金曜日（土曜日・日曜日・祝日および本学の定める休日は閉室）

9時00分～11時30分，12時30分～17時00分（受付は16時30分まで）

2 貸出冊数・貸出期間

	貸出冊数	貸出期間
本研究所専任研究員（有期を含む）	50冊以内	1年以内
本学専任教員	50冊以内	3ヶ月以内
本研究所研究会参加者	30冊以内	3ヶ月以内
本研究所専任研究員退職者（有期を含む）	30冊以内	3ヶ月以内
本学専任職員	10冊以内	4週間以内
本学大学院生	10冊以内	4週間以内
本学学部学生	5冊以内	2週間以内
同志社女子大学大学院生・学部学生	5冊以内	2週間以内
法人諸学校専任教職員	5冊以内	2週間以内
本学非常勤教職員	5冊以内	2週間以内
本学専任教職員退職者	5冊以内	2週間以内
本学卒業生	閲覧のみ	
地域利用者・学外者	閲覧のみ	

※学外の方は、「同志社大学図書館」を通じて、閲覧申し込みをお願いします。

3 閲覧・貸出手続

1

本研究所の図書資料を閲覧・帯出する場合は、本研究所指定の用紙に必要事項を記入のうえ窓口に提出してください。資料によっては別途申請書の提出が必要です。

2

次の資料は、貸出することができません。
貴重図書、参考図書、文書類、マイクロフィルム、テープ等の視聴覚資料、
その他、所長が帯出を禁止した資料

3

研究会参加者および本学専任教職員以外は、入庫できません。

4

学外者の利用については、所属大学図書館・所属機関または公共図書館発行の紹介状が必要です。

5

業務上等の必要がある時は、貸出図書の返却を求めることがあります。

6

暴風警報・特別警報が発表された場合および交通機関が不通の場合は、本学図書館の開館時間に準じます。

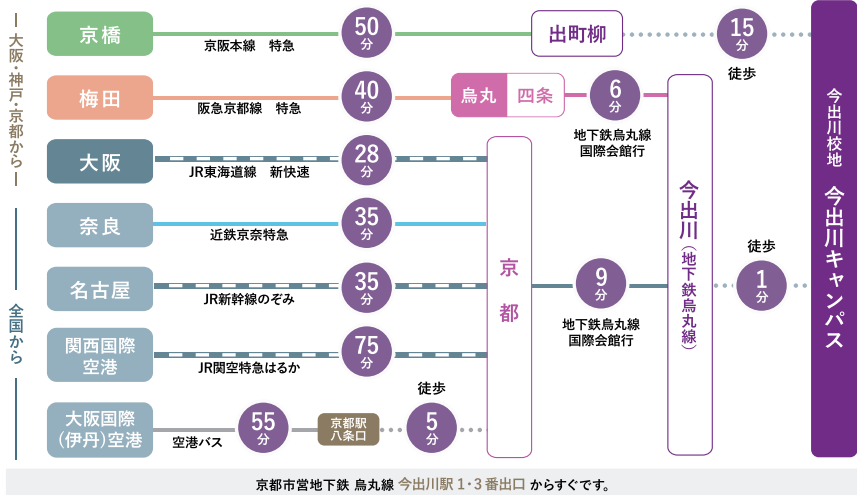
4 文献複写および機器利用

1

複写用機器（コピー機、ブックプロ、マイクロリーダー等）を利用する場合は、実費を頂戴します。

2

文献複写の郵送による申し込みは、依頼者の所属機関の図書館等を通じて本学図書館の利用支援係にご依頼ください（研究所に直接依頼することはできません）。



京都市営地下鉄 烏丸線 今出川駅 1・3 番出口 からすぐです。

同志社大学 人文科学研究所

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 啓明館3階

TEL:075-251-3940 FAX:075-251-3062

<https://jinbun.doshisha.ac.jp/>

